

④ センサーによる安否確認 (つづき)

サービス会社	安否確認回数と確認内容	料金	特色(☆はメリット、★はデメリット)
<p>「安心見守りサービス」 九電ホームセキュリティ http://www.qhs.co.jp/ ☎ 0120-306-940 九州以外からは ☎ 092-477-2635 (平日8時50分～17時30分)</p>	<p>宅内に設置した各種センサーとカメラで、高齢者の生活を見守り。生活状況を登録者に1日1回メール。宅内の様子は携帯電話の画像でいつでも確認できる。急病やケガなどの緊急時は、携帯型の緊急通報押しボタンを押すだけで、登録者にメールが通知。万が一の時、別料金で警備員のかけつけも依頼できる。</p>	<p>一般電話の場合、買い取り(初回のみ)9万9960円、月2620円、レンタル初回1万7750円、月4100円</p>	<p>☆室内カメラの画像が携帯で常時見られるが、監視の不快感を感じる利用者があるかもしれない。</p>

⑤ 携帯電話による安否確認

サービス会社	安否確認回数と確認内容	料金	特色(☆はメリット、★はデメリット)
<p>ソフトバンク 「かんたん携帯」</p>	<p>その日初めてケータイを開閉したとき、指定の登録者に固定メッセージを自動でメール送信。開閉だけで安否確認できる。</p>	<p>専用の料金プランで月額490円。</p>	<p>☆電話料以外、料金がかからない。 ★機能が限定されている。</p>
<p>戸山団地の見守りサービス NPO法人「人と人をつなぐ会」 http://npo-ppj.com/</p>	<p>開くだけでメールが届く折り畳み式携帯電話を活用。登録者に着信がないと安否を確認する。また利用者が緊急連絡用に設定したワンタッチボタンを押すと、24時間体制のコールセンターにつながり、救急車を呼んでもらうこともできる。</p>	<p>団地自治会とNPO法人「人と人をつなぐ会」との連携事業。携帯の基本料金などに加え、月1050円のコールセンターの利用料が加算。</p>	<p>☆団地ぐるみの「見守り」とつながっている。 ☆料金が安い。</p>
<p>「げんきでんわ」 アイ・コンサルタンツ合同会社(LLC) http://www.genkidenwa.com/ 同様のサービスには、「あんしん見守りコール」など多数。</p>	<p>1日1回利用者の自宅に自動で電話がかかり、機械の音声で健康状態を尋ねる。利用者は「1すこく元気」「2まあまあ元気」「3元気がない」から一つを選んでボタンを押す。通話終了後、登録者に報告をメール。電話に出なかった場合は数時間後にかけて直され、その日のうちに連絡がつかなければ、登録者にメールする。</p>	<p>会社、または各地の代理店に。登録料2000円、月額利用料は980円。別料金を払えば、携帯電話でも利用できる。話せるシステムは、あいさつ程度で週1回500円から。</p>	<p>☆料金が安い ★電話にも関わらず会話ができない。別料金でオペレーターと会話できるところもある。</p>
<p>富士通 住民生活支援ソリューション http://fenics.fujitsu.com/products/downloads/products/material/uc/lifesupport.pdf</p>	<p>NTTドコモの「らくらくホン」を使用。携帯電話の3つのメニューの中から希望するサービスを選択すると、ボタン1つでボランティアや商店街の担当者と話したり、救急車を呼んだりすることができる。また、携帯電話の内蔵センサーから自動通知される歩数情報や、GPSなどにより探知できる位置情報を安否確認に活用。</p>	<p>総務省の助成金などで、自治体が導入。</p>	<p>☆自治体が提供する場合は無料 ☆さまざまな機能があり、簡単に使いやすい。 ☆歩数情報やGPSで安否確認ができる。 ★自治体などが導入しないと利用できない。</p>